

DXは、人材の育成から始まる。

長野市データ活用人材 育成プログラム

無料
長野市
負担

先着
40社

令和8年度 技術編

今回は、「技術編」（第2クール※）のご案内です。

DX化が進まないという課題の一つには、**データ活用人材の不足**があげられます。長野市は、データ活用人材を育成、DXを実現したい市内中小企業の支援のため、**データ分析手法等を動画で学べる「技術編」**を実施します。

※第2クールは令和6、7年度の「技術編」で公開していた講座に加え、新たに4講座が追加となっています。

申込

視聴期間

特徴

2026年10月16日～2027年1月29日

※申込受付後随時IDを付与します。

2026年11月16日（予定）～2027年3月22日

※視聴開始日が確定しましたらHP等によりご連絡いたします。

動画での
自己学習型



動画は
信州大学提供

受講履歴で
社員の学習進捗
を確認



長野市
NaganoCity
商工労働課



信州大学 | 工学部
SHINSHU UNIVERSITY

共催

長野商工会議所・長野市商工会・信州新町商工会

事業への申込/問合せ：長野市商工労働課 有賀・荻野
tell：026-224-5041 Mail：skr@city.nagano.lg.jp

1. データエンジニアリング データの整理・加工
2. 時系列データ解析 異常検知や未来予測
3. 画像認識・深層学習 画像データの分析
4. LLM・RAG構築 社内データに基づく対話
5. AIエージェント 自律的な判断と実行

▶ 令和8年度新規公開動画

大規模言語モデル（LLM）・RAG構築のための技術（基礎） 1. 単語の意味（機械学習など） 2. Transformer（確率機械としてのLLMなど） 3. LLMの学習（BPE自己教師学習など）	大規模言語モデル（LLM）・RAG構築のための技術（応用） 1. LLMの利用（商用LLM、ローカル利用など） 2. RAGの基本とLang-Chain 3. Lang-ChainによるRAGシステム構築	AIエージェント入門基礎編（AI駆動開発） 1. AIエージェントとは何か 2. AI駆動開発の進め方 3. 安全に任せる・人の役割
AIエージェント入門 応用編（開発事例） 1. AXで業務はどう変わるか。題材を絞る必要性 2. 3つの業務で実際に作ってみる 3. 監査できる形で広げ、次を判断する	データをエンジニアリングする重要性とデータマイニング・プロセス 1. データをエンジニアリングする重要性 2. データマイニング・プロセスの流れ 3. AIをプロデュースすること	今すぐ始めるデータ分析・可視化 超入門〜ことばを覚えましょう〜 1. 分析しやすいデータの形に成形・加工 2. 目的の応じた適切なデータの可視化 3. 可視化で主張したいメッセージ、グラフからの示唆出し
今すぐ始める時系列データ解析（基礎） 1. データ活用ストーリー 2. 時系列データの異常検知と要因検索 3. 時系列データの将来予測	今すぐ始める時系列データ解析（応用） 1. 予測モデル構築の概要と性能評価 2. 特徴はアクト変動成分・系列の定常化の実装 3. 時系列予測モデルのPythonによる実装	デジタル化・DX推進 活用事例 1. なぜDXが求められるのか 2. デジタル化・DX推進の事例 3. デジタル化・DXに求められるスキルとは
画像処理・画像認識・深層学習のための技術（基礎） 1. 画像データの仕組み 2. 基本的な画像処理の仕組み 3. OpenCV(Python)による画像解析処理の実演	画像処理・画像認識・深層学習のための技術（応用） 1. 画像認識 2. 畳み込みニューラルネットワーク 3. 物体検出 4. Transformer	デジタル化・DX推進 活用のための技術 1. DXとデジタル技術の関係 2. デジタル技術・データ活用技術の全体像 3. 必要なマインドとスキル

※登録手続き完了の後、事務局からご案内する人材管理プラットフォームにて、動画コンテンツを視聴いただけます。

次の宛先に必要事項を記載し、メールでお申込みください。

・宛先 : skr@city.nagano.lg.jp

・件名 : 【技術編 第2クール】

・メール本文 :

①社名②受講人数③役職・受講者氏名④メールアドレス（受講者毎）⑤電話番号

※各項目必須でメール本文への記入をお願いします

注1) お申込みは、**会社単位**でお願いします。複数人での申込み可能です。

注2) お申込み後に、会社単位で、人材管理プラットフォームを使用する上での必要情報を事務局からお送りします。

注3) 人材管理プラットフォームにログインして使用するために、各社受講人数分のIDとパスワードをご提供します。